**『アカウンティング演習A』レポート課題例**

**レポート課題名；“表計算ソフトによる財務諸表の分析”**

 （注意）必ず講義中に作成した財務諸表（つまりビジネス・ゲーム用の財 務諸表）を利用すること。

**［課題例］**

１．一つの財務指標を用いていろいろな観点から分析しなさい。

　■売上債権回転率と販売価格，販売量，購入価格,購入量との関係分析。

 ■販売量と流動資産,流動負債,流動比率との分析。

　■自己資本利益率と販売量、販売価格、購入価格との関係分析。など

２．販売価格の上昇に伴って手持ち現金が不足した原因の分析

３．エクセルによるビジネス・ゲームの会計モデルの開発。（現行モデルの 改良点を指摘し、その改良点に従って会計諸表を設計し直してもよい） （この場合にはフロッピー・ディスクも添付する）

４．全部原価計算による損益分岐点の検討

５．売上高と利益額の推移―直接原価計算 VS.全部原価計算

６．製品の販売価格や材料の購入原価が損益分岐点に及ぼす影響の分析

７．自己資本利益率（ＲＯＥ）と総資本利益率（ＲＯＩ）との関係分析など

８．各要素（販売価格、販売量、在庫量など）が営業キャッシュフロー（ま たはフリー・キャッシュフロー）に与える影響分析

**レポートの枚数**；Ａ４に２～３枚程度（グラフや図表を含む）

**レポートの締め切り**；８月１日（木）

**提出場所**；志村研究室のポストに挿入

 （参考）①分析結果をグラフなどにして表示すると一層望ましい。

 ②財務指標の一般的な説明で終わることがないようにする。

 ③可能なら、文章はワープロで仕上げるとよい。

　 　　　④同じようなレポートが提出された場合には、両者とも失格とする。

　　 　　⑤独自性（独創性）と分析力によって評価する。したがって、他の 人と同じような分析は評価が低いことを銘記すべきである。

 ⑥必要なら、現行の会計モデルで仮定しているある項目の金額を変 更して分析してもよい。（例えば、市場調査費やその他の固定費 など）

 ⑦必要に応じてフロッピー・ディスクも添付する。返却希望の者は その旨を伝えてほしい。